

日本音響学会関西支部 2015年通常総会次第

日時 : 2015年4月17日(金) 13:00~14:00

場所 : 立命館大学大阪いばらきキャンパス カンファレンスホール

議題:

- 1) 2014年度事業実施報告
- 2) 2014年度収支決算報告・監査報告
- 3) 2015年度支部役員選挙開票結果報告
- 4) 2015年度支部役員、幹事、ならびに会計監査選出承認の件
- 5) 2015年度事業計画承認の件
- 6) 2015年度収支予算承認の件
- 7) 支部会員数の推移について
- 8) 関西支部規則の一部改正に関する件
- 9) 関西支部役員選挙・総会委任状等の電子化に関する件

配布資料:

- | | |
|-----------|---------------------|
| 総会資料 15-1 | 2014年度事業実施報告(案) |
| 総会資料 15-2 | 2014年度収支決算報告(案) |
| 総会資料 15-3 | 2015年度支部役員選挙開票結果 |
| 総会資料 15-4 | 2015年度支部役員(案) |
| 総会資料 15-5 | 2015年度事業計画(案) |
| 総会資料 15-6 | 2015年度収支予算(案) |
| 総会資料 15-7 | 支部会員数の推移 |
| 総会資料 15-8 | 関西支部規則の一部改正 |
| 総会資料 15-9 | 関西支部役員選挙・総会委任状等の電子化 |

2014年度事業実施報告(案)

庶務幹事:西川 剛樹

主催行事など

開催日	行事名	開催場所	概要・備考
4月26日	2014年度 通常総会	海遊館	2013年度 事業実施・決算報告 2014年度 事業計画・予算審議 出席28名、委任状113通 計141名(定足数107名)
4月26日	講演会・見学会	海遊館	西田館長によるご講演「海遊館の使命」 バックヤード・一般展示スペースの見学 参加47名
10月16日	講演会・見学会	あべの ハルカス	竹中工務店様によるご講演 「あべのハルカスの建築設計概要」 あべのハルカスATMD、 オフィスロビー、展望台などの見学 参加45名
12月14日	第17回 若手研究者交流 研究発表会	関西大学 100周年 記念会館	講演会、ポスターセッション、懇親会 発表44件、参加143名

談話会(開催補助)

開催日	研究会名	開催場所	発表件数・参加人数
12月15日	Deep Learning と 音響分野への応用	立命館大学 大阪梅田キャンパス	発表5件 参加20名
2015年 3月26日	関西企業における 音響技術の研究開発	近畿大学会館	発表6件 参加40名

研究会(開催補助)

開催日	研究会名	開催場所	発表件数・参加人数
5月30、31日	聴覚研究会	同志社大学 京田辺キャンパス	発表16件 参加76、70名
7月16日	建築音響研究会	キャンパスプラザ 京都	発表5件 参加24名
10月23、24日	音声研究会・聴覚研究会(共催)	和歌山県 白浜温泉 ホテルシーモア	発表18件 参加52、53名
12月13日	音楽音響研究会	龍谷大学 大宮キャンパス	発表4件 参加31名
2015年 1月13日	建築音響研究会	関西大学 100周年記念会館	発表5件 参加27名
1月19日	騒音振動研究会	関西学院大学 大阪梅田キャンパス	発表6件 参加13名
1月28、29日	超音波研究会、 電気音響研究会 (併催)	同志社大学 今出川キャンパス	発表20件(超音波)、13件(電気音響)、内10件(共通講演) 参加51、48名

役員会

回	開催日	開催場所	議題・備考
第1回	4月26日	海遊館	総会提出議案書の審議
第2回	6月26日	立命館大学 大阪梅田キャンパス	講演会・見学会案、談話会主催促進の審議、 若手の会報告など
第3回	10月16日	あべのハルカス	若手研究者交流研究発表会の進捗報告、 次期役員候補の選定方法の審議など
第4回	12月14日	関西大学 100周年記念会館	講演会・見学会実施報告、次期役員候補の 選定など
第5回	2015年 1月21日	立命館大学 大阪梅田キャンパス	次期役員候補の承認、支部役員選挙日程調整、 通常総会・講演会・見学会案の審議など
第6回	3月4日	立命館大学 大阪梅田キャンパス	支部役員選挙結果報告、通常総会・講演会・見学 会案の確認、2014年度事業報告(案)・決算報告 (案)、2015年度事業計画(案)・収支予算(案)の 審議など
第7回	4月17日	立命館大学 大阪いばらきキャンパス	総会提出議案書の審議(予定)

2014年度収支決算報告(案)

会計幹事:中山 雅人

一般会計		(単位:円) (単位:円)		(単位:円) (単位:円)	
収入				支出	
項目	予算	決算	項目	予算	決算
1. 補助交付金	1,266,816	1,266,816	1. 事業費	1,510,000	1,053,030
2. その他の収入			2. 事務費	605,000	542,664
若手研究者交流研究発表会 参加費収入	176,500	189,000	3. 予備費	10,000	0
利子等	153	296			
当期収入合計(A)	1,443,469	1,456,112	当期支出合計(C)	2,125,000	1,595,694
3. 前期繰越収支差額	1,305,132	1,305,132	当期収支差額(A)-(C)	△ 681,531	△ 139,582
4. 源泉徴収支払本部預り金	10,000	10,000	総額次期繰越収支差額(B)-(C)-(D)	633,601	1,162,479
			今年度支部源泉支払額(D)		13,071
			年度末源泉税支払い本部預り金(△)	10,000	(3,071)
総計(B)	2,758,601	2,771,244	支部扱い次期繰越額	623,601	1,165,550

一般会計支出内訳		(単位:円) (単位:円)			
項目	予算	決算			
1. 事業費	1,510,000	1,053,030	学会事業に係わる経費		
若手研究者交流研究発表会	900,000	597,126	若手研究者交流研究発表会		
講演会・見学会費	250,000	235,904	講演謝礼、文具、通信費など		
談話会費	200,000	100,000	談話会開催金 50,000円×2談話会		
研究会補助金	150,000	120,000	研究会開催補助金 15,000円×8件		
その他の事業経費	10,000	0	予備費		
2. 事務費	605,000	542,664	学会運営の管理にかかわる費用全般		
総会経費	10,000	0			
役員会費	200,000	301,518	交通費、会議場費、飲み物代		
文具消耗品	5,000	75	封筒代など		
通信運搬費	150,000	148,859	郵送料など		
印刷製本費	200,000	81,116	印刷費など		
交通費	10,000	4,400			
会議費	10,000	0	役員選挙開票作業時の幹事交通費		
諸手数料	10,000	6,696	振り込み手数料など		
その他の管理費	10,000	0			
3. 予備費	10,000	0			
当期支出合計(C)	2,125,000	1,595,694			

以上の通りご報告申し上げます。
2015年4月9日

会計幹事

中山雅人 印

上記会計報告を適正であると認めます。

会計監査

有木康雄 印

会計監査

荒木邦彦 印

2015年度支部役員選挙開票結果

庶務幹事:西川 剛樹

1. 投票締切日	2015年2月28日(土) 必着		
2. 開票日時	2015年3月4日(水) 15:00~16:30		
3. 開票場所	立命館大阪梅田キャンパス演習室1		
4. 開票立会人	支部長	中迫 昇	㊟
	庶務幹事	西川 剛樹	㊟
	庶務幹事	山本 健	㊟
	会計幹事	中山 雅人	㊟
	会計幹事	木村 敏幸	㊟

5. 開票結果

A. 投票総数 173 票B. 有効投票数 172 票

1) 2015年度支部長

土屋 隆生 170 票その他 1 票白票(記入無) 1 票無効 0 票

2) 2015年度副支部長

中村 哲 168 票その他 1 票白票(記入無) 3 票無効 0 票

3) 2015~2016年度支部評議員

浅田 隆昭 164 票竹本 浩典 163 票西村 竜一 165 票飛龍 志津子 161 票三浦 雅展 162 票その他 1 票白票(記入無) 1 票無効 0 票C. 無効投票数 1 票外封筒記名なし 1 票中封筒なし 0 票中封筒記名 0 票投票用紙なし 0 票その他 0 票

2015年度支部役員(案)

庶務幹事:西川 剛樹

■支部長 :土屋 隆生 (同志社大学)

■副支部長:中村 哲 (奈良先端科学技術大学院大学)

■評議員:

[留任:任期2015年度末まで]

榎本 成悟	(国立研究開発法人情報通信研究機構)
川村 新	(大阪大学)
下倉 良太	(島根大学)※
鈴木 成一郎	(サムスン日本研究所)
堀之内 吉成	(京都大学)

※2014年12月奈良医科大学より異動されましたが、関西支部への所属を希望されましたので、支部規則に従い支部正会員とし、評議員の任期を務めていただきます。

[新任:任期2016年度末まで]

浅田 隆昭	(株式会社村田製作所)
竹本 浩典	(国立研究開発法人情報通信研究機構)
西村 竜一	(和歌山大学)
飛龍 志津子	(同志社大学)
三浦 雅展	(龍谷大学)

■庶務幹事:山本 健 (関西大学) ※留任

榎本 成悟 (国立研究開発法人情報通信研究機構) ※新任予定

■会計幹事:大谷 真 (京都大学) ※新任予定

滝口 哲也 (神戸大学) ※新任予定

■会計監査:荒木 邦彦 (株式会社音響デザイン研究所) ※留任

中迫 昇 (近畿大学) ※新任予定

以上

2015年度事業計画(案)

庶務幹事:山本 健

主催行事等

開催日	行事	開催場所	概要
4月17日	総会	立命館大学 大阪いばらきキャンパス 立命館いばらき フューチャープラザ B 棟 1F カンファレンスホール	2014 年度 事業・決算報告 2015 年度 事業計画・予算審議
4月17日	講演会・見学会	立命館大学 大阪いばらきキャンパス 立命館いばらき フューチャープラザ B 棟 1F カンファレンスホール	立命館大学武田先生キャンパスの ランドスケープデザインに関する講 演、竹中工務店日野様より建築設 計に関する講演、立命館大学西浦 先生より極小オーディオスポットに 関する講演の後、キャンパス内施設 の見学、岩倉公園等の自由見学
10月頃	見学会	未定	未定
12月13日	第18回関西支部 若手研究者交流 研究発表会	関西大学 100周年記念会館	ポスターセッション 企業展示・懇親会

役員会

7回開催予定

回	開催日	開催場所	議題(案)
第1回	4月17日	立命館大学大阪いばらきキャンパス 立命館いばらきフューチャープラザ B 棟 1F イベントホール 3 (大阪府茨木市岩倉町 2-150)	総会提出議案書の審議
第2回	6月頃	未定	見学会・講演会案の審議
第3回	10月頃	未定	若手研究者交流研究発表会の 進捗報告 本部支部連絡会の報告
第4回	12月13日	関西大学100周年記念会館	見学会実施報告 次期役員候補の選定
第5回	1月中旬	未定	次期役員候補の承認 若手研究者交流研究発表会の 開催報告 役員選挙の日程調整 総会・見学会案の審議

第6回	3月前半	未定	支部役員選挙結果報告 総会・見学会案の確認 2015年度事業報告(案)・決算報告 (案)の審議 2016年度事業計画(案)・収支予算 (案)の審議
第7回	4月	未定	総会提出議案書の審議

研究会(開催補助)

聴覚, 音声, 騒音・振動, 建築音響, 超音波, 電気音響, 音楽音響, アコースティックイメージング, (音響化学研究委員会)等

※本部研究会の関西支部地域での開催時に補助支出

談話会(関西支部主催)

4月総会～6月役員会の時期に改めて公募(計画書提出)、4談話会程度を採択

2015年度収支予算(案)

会計幹事:大谷 真

一般会計		(単位:円)	
収入		支出	
項目	予算	項目	予算
1. 補助交付金	1,200,929	1. 事業費	1,510,000
2. その他の収入	176,500	2. 事務費	605,000
若手研究者交流研究発表会 参加費収入	176,500	3. 予備費	10,000
利子等	153		
当期収入合計(A)	1,377,582	当期支出合計(C)	2,125,000
3. 前期繰越収支差額	1,165,550	当期収支差額(A)-(C)	△ 747,418
		総額次期繰越収支差額(B)-(C)-(D)	428,132
4. 源泉徴収支払本部預り金	10,000	今年度支部源泉支払額(D)	0
		年度末源泉税支払い本部預り金(△)	10,000
総計(B)	2,553,132	支部扱い次期繰越額	418,132

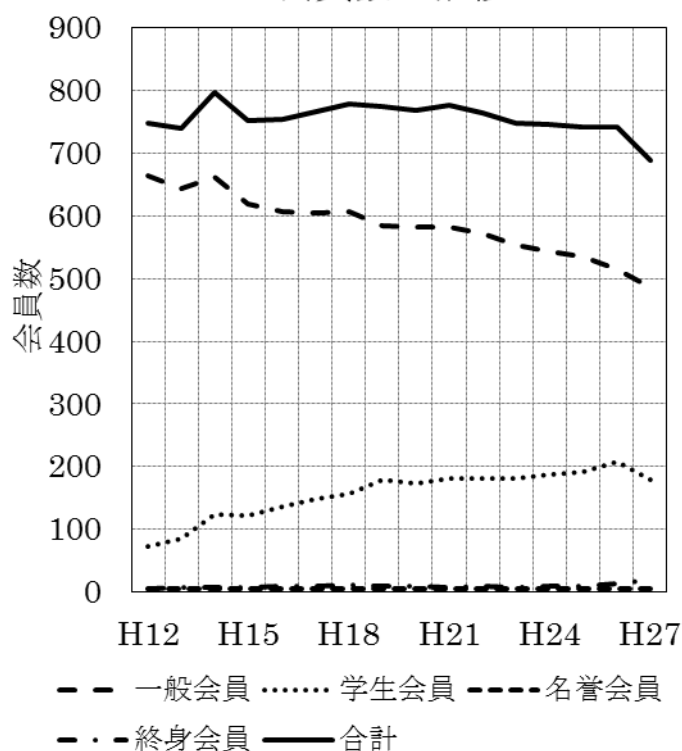
一般会計支出内訳		(単位:円)	
項目			
1. 事業費	1,510,000	学会事業に係わる経費	
若手研究者交流研究発表会	900,000	若手研究者交流研究発表会補助	
講演会・見学会費	250,000	講演謝礼、文具、通信費など	
談話会費	200,000	談話会開催金 50,000円×4談話会	
研究会補助金	150,000	研究会開催補助金 15,000円×10件	
その他の事業経費	10,000	予備費	
2. 事務費	605,000	学会運営の管理にかかわる費用全般	
総会経費	10,000		
役員会費	200,000	交通費、会議場費、飲み物代	
文具消耗品	5,000	封筒代など	
通信運搬費	150,000	郵送料など	
印刷製本費	200,000	印刷費など	
交通費	10,000		
会議費	10,000	役員選挙開票作業時の幹事交通費	
諸手数料	10,000	振り込み手数料など	
その他の管理費	10,000		
3. 予備費	10,000		
当期支出合計(C)	2,125,000		

支部会員数の推移

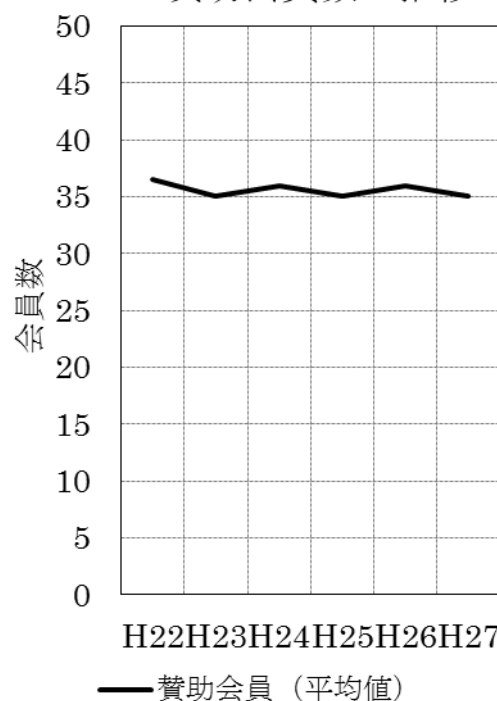
支部長:土屋 隆生

和暦	西暦	会員					賛助会員		
		一般会員	学生会員	名誉会員	終身会員	合計	最小値	最大値	平均値
H12	2000	665	72	4	6	747			
H13	2001	644	85	4	7	740			
H14	2002	663	123	4	8	798			
H15	2003	619	121	4	8	752			
H16	2004	606	135	4	9	754			
H17	2005	604	149	4	10	767			
H18	2006	607	157	4	11	779			
H19	2007	584	178	4	9	775			
H20	2008	583	172	4	9	768			
H21	2009	583	181	4	8	776			
H22	2010	571	180	4	9	764	34	39	36.5
H23	2011	553	182	5	8	748	33	37	35
H24	2012	544	188	5	9	746	34	38	36
H25	2013	536	192	5	9	742	34	36	35
H26	2014	515	207	6	13	741	36	36	36
H27	2015	486	178	6	19	689	34	36	35

会員数の推移



賛助会員数の推移



関西支部規則の一部改正

庶務幹事：山本 健

日本音響学会関西支部規則の一部を下記のとおり改正することについて進言致します。

記

1. 改正理由

支部評議委員が 10 名に満たなくとも、支部運営を可能とするため。

2. 改正内容

「日本音響学会関西支部規定改正案の新旧対照表」のとおり。

3. 施行期日

施行期日は、平成 27 年 4 月 17 日とする。

以上

日本音響学会関西支部規定改正案の新旧対照表

現行	摘要	改正(案)
昭 48.12.17 制定 昭 59. 4.20 改正 平 3. 5. 1 改正 平 13. 4.23 改正 平 24. 5.21 改正		昭 48.12.17 制定 昭 59. 4.20 改正 平 3. 5. 1 改正 平 13. 4.23 改正 平 24. 5.21 改正 平 27. 4.17 改正
第4条 本支部には、次の役員及び 評議員をおく。 支部長 1名 支部会計幹事 2名 副支部長 1名 支部会計監査 2名 支部庶務幹事 2名 支部評議員 10名	文言の追加	第4条 本支部には、次の役員及び 評議員をおく。 支部長 1名 支部会計幹事 2名 副支部長 1名 支部会計監査 2名 支部庶務幹事 2名 支部評議員 <u>原則</u> 10名

参考

第5条

- (1) 支部長及び副支部長の任期は1年とし、再任しない。ただし、退任後2年以上経過した場合は、この限りではない。
- (2) 支部評議員・支部会計監査及び支部幹事の任期は2年とする。ただし、1年ごとに半数を改選するものとする。
- (3) 支部評議員及び会計監査は再任しない。ただし、退任後2年以上経過した場合はこの限りではない。
- (4) 補欠による役員及び評議員の任期は、前任者の残任期間とする。

(役員・評議員の選出)

第6条

- (1) 支部長、副支部長及び支部評議員は、支部正会員、終身会員及び支部地域に在住する名誉会員の中から、支部正会員、終身会員及び支部地域に在住する名誉会員の選挙によって選出する。
- (2) 支部幹事、支部会計監査は、支部評議員会で選出し、支部総会の承認を受けるものとする。

関西支部役員選挙・総会委任状等の電子化

副支部長:土屋 隆生

1. 背景

- ・ 日本音響学会では、一般会員の数が年々減少してきている。それに伴い、関西支部への補助交付金は下記に示すように、減少傾向にある。一方で、関西支部の特色ある事業である『若手の会』や『談話会』のさらなる活性化は、会員数の増加に加え、学会としての価値を高める上で重要であると考ええる。
- ・ 支部交付金推移

(単位:千円)

年度	2002	2003	2004	2005	2009	2010	2011	2012	2013	2014	2015
交付金	1,364	1,364	1,354	1,364	1,225	1,175	1,113	1,117	1,115	1,266	1,214

2014年度から学会年会費値上げ

2. 課題

- ・ 関西支部事業のさらなる活性化に向けて、幹事の各種事業への参画の機会は増え、幹事業務の負荷は増加傾向にある。さらに、今後も含め、消費増税により、支出に対する負担は増加傾向にある。以上のことに鑑み、経費節減と幹事負担の軽減を図る必要がある。
- ・ コストの削減と幹事へ負担軽減が見込める業務の一つとして、役員選挙・総会委任状等の郵送が挙げられる。現状掛かっているコストと幹事業務は以下の通りである。
コスト:229,975 円(通信運搬費:148,859 円+印刷製本費:81,116 円) ※2014 年度実績
業務:郵送作業(郵便局への料金受取人払申請・発送手配)および
郵送物一式作成(同封物、ハガキ、外封筒)
- ・ 今後2年間かけて段階的に郵送から電子化に移行することで上記課題への対策を図りたい。

3. 電子化の概要(案)

- ・ 方針:九州支部で実績のある運用および電子システムを踏襲する。
- ・ 幹事作業
 - 役員会において、選挙および総会に向けて、電子システムに記載する内容(これまでの郵便物の確認に相当)について承認を頂く。
 - 確定した内容を基に、幹事が電子システムのGUIを作成する(単純作業で1時間程度)。
 - 締切の1ヶ月前を目途に、学会誌への会告、関西支部MLにおいて電子システムのURLを案内する。
- ・ 会員(有権者)作業
 - 案内されたURLにアクセスし、名前とメールアドレスを入力する。
 - 入力したメールアドレスに送付された回答用URLにアクセスし、選挙や総会委任に関する回答を行う(入力方法は番号選択または文字入力)。

- ・ リスクへの対応
 - 会員認証は、幹事が電子システムで入力された情報と関西支部会員リストとを照合することで担保する。
 - なりすましには、電子システムの有効期限を案内から1ヶ月程度と短くすることで機会を減らす。
 - 信任投票と総会成立が目的であり、回答数減少を防ぐため、会員認証よりも会員の入力負荷軽減を重視する。
 - 二重投票は、本人確認を行った後、投票内容が同じ場合は1票のみを有効とし、投票内容が異なる場合は本人に確認する。
- ・ 備考
 - 電子システムは、九州支部で実績のあるWEBアンケートシステム(Limesurvey:フリーのアンケート調査システム)を採用する。システムは、音響学会が管理・運営しているacoustics.jp(関西支部のホームページと同じサイト)上で開発・運用する。

4. 導入の流れ(案)

- ・ 今年度は投票用紙を郵送するが、できるだけ電子的に投票することを促す。来年度以降は、前年度に電子投票した人はメールのみで告知、それ以外の人には引き続き郵送する。最終的には、電子投票に一本化する。移行の過程で決定的な不都合が生じた場合には、電子化を断念することもあり得る。
- ・ スケジュール

2015年4月総会	基本方針を承認
2015年夏頃	システム開発・問題点等を検討
2016年選挙・総会案内	電子システムと従来の郵送を併用
2017年	メール回答者から随時電子化のみに移行
2018年以降	完全電子化